

ALL DISEASE IS A REPARATIVE PROSESS

病気は回復過程である ナイチンゲール「看護覚え書」より

ハイビジョン作品 45分

加賀美幸子

アナウンサー(元NHK)・千葉市女性センター名誉館長



耳で聴く『看護覚え書』。朗読の響きは言葉の意味を際立たせてくれます。

辰巳 芳子 料理研究家・随筆家



クリミア戦争時、ヴィクトリア女王は瀕死の兵士に牛肉スープを送りました。口から食べることの大切さ。辰巳さんは「病院食にスープを」と提唱しています。

川島みどり 日本赤十字看護大学名誉教授



現場の看護師の立場から出演をお願いしました。製作意図を深くくみとって下さり、映像製作の資金集めに絶大な力を発揮していただきました。

企画制作 映画『看護覚え書』をつくる会
U.N.Limited



150年前の出版であるにもかかわらず「看護覚え書」には、今の私たちに役立つ「考えるためのヒント」がぎっしり詰まっています。

そのヒントに触れずにいるのはいかにも勿体ない。

そのことをお伝えしたくてこの映画を製作しました。

『NOTES OF NURSING』
「看護覚え書」

フローレンス・ナイチンゲール(1820~1910)
Florence Nightingale



看護に目覚めてヨーロッパ中の病院・施設を精力的に回った若き日々



約150点もの膨大な著作を残して90年の生涯を閉じた



イギリス ハンプシャーにあるナイチンゲールの墓

20年前、取材先の病院でナイチンゲール著作集を目にしました。クリミア戦争の偉人としてしか認識していなかった過去の人が多く、世に出した人であったことに驚きました。何よりその文体が持つ独特の強さ、主張の揺るぎなさに圧倒されました。

「看護覚え書」を初めて読んだときの感動をいつか映画にしたいと考えて20年が過ぎ、ナイチンゲール没後100年に、初念が形になりました。

時代をくぐり抜けてきた「古典」は「現代」である。映画「看護覚え書」を作り終えて改めてその思いを強くしています。

U.N.Limited 今泉 文子



福井 次矢

聖路加国際病院院長・京都大学名誉教授
「ナイチンゲールが、当時台頭してきた統計学を駆使して医療や衛生の改善・発展に大きく貢献したことは、あまり知られていません」日本にEBM (Evidence-based medicine 根拠に基づく医療)の概念を紹介した福井先生

林 望

(作家・国文学者)

ナレーターは『イギリスはおいしい』の林さん。現在『謹訳 源氏物語』を刊行中

